

メルヘンハウス通信

今月の和とく情報

塩瀬はすぐれもの

塩瀬とは、生地の名前です。

帯を染めるときによく用いられる帯用の生地です。染め帯と言えばおおかたこの生地を使います。

張りがあり締めるときっちりとしてよく締まり、気持ちの良い帯地で着物好きな方々に好まれています。

もともと袋帯とは違い、紬や小紋に締めて街着の着物に使う名古屋仕立ての帯ですから、さりげない洒落た装いとして人気もあります。

もちろん、名古屋帯には織りの帯もありますし、紬や変わり生地で染めた帯もあります。

これからの和とくポイント

塩瀬の染帯を締める期間

塩瀬は一年の中でこれほど長く使える帯はありません。

まず9月から翌年の5月いっぱいまで9ヶ月間は締められます。6、7、8月には紹目で織られた紹塩瀬を使います。

9月を迎える頃、どんな帯を締めるのか迷うことがあります。

まだ暑いし真冬の帯は重苦しいし、単衣の着物には何が良いかと考えますが、こんな時塩瀬の染め帯があると便利でしょう。まして秋口の柄が描かれていればこれに勝るお洒落はありません。

夏の間は紹塩瀬が活躍してくれます。

これは5月の末の頃に暑ければ使い始めて良いでしょう。

帯は着物よりやや早めに考えるのがお洒落とされています。

従って9月の頭によほどの真夏日があれば紹塩瀬を締めても構いませんが、できれば普通の塩瀬に切り替えて下さい。

但し袋帯を締めなくてはならない訪問着や式服での場所では名古屋仕立ての塩瀬の出番はありません。

柄としては季節感のある柄が多く、他にも更紗模様や幾何学的な柄、抽象的な柄と様々あります。

これにより紬や小紋の着物にあわせると楽しい装いになります。

古典的や格調の高い図柄であれば仕立て方（お染め仕立てや鏡仕立て）に工夫をして色無地や附下くらいまでに締められる帯となります。

また洒落な柄、粋な柄なら趣味的な装いと、柄の付け方によってはバリエーションが広がり着物の雰囲気を高める帯としての役割は大でしょう。

このような点から、着物はフォーマルな時に着るばかりではなく、一人でも塩瀬帯の愛好者が増えてさまざまな機会にさりげなく着物を楽しむ帯として活用して欲しいものです。



暑中お見舞い
申し上げます



今日もきものの気分

やしま呉服店からのお知らせ

8月の催事・イベント

◎月1キャンペーン…

19(土)~27(日)

・癒しのお香とお香立て・お皿

お部屋に飾りたくなるお洒落なお香セット

※詳細はお店までお問い合わせください



カルチャー

◎ポーセラーツ教室…10日(木)

クラフトカゴ&バッグ作りもしています♪

お盆休み

15日(火) 16日(水) 17日(木)

※各詳細のお問い合わせはお店まで

◎HP: <http://www.yashima-gofuku.co.jp/>

さくらきもの学院

◎たくみの会…8月20日

おわら風の盆-前夜祭(東町)

◎HP: <http://jtti.jp/sakurawasou/>

◎Fb: <https://www.facebook.com/sakurawasou/>

レッスンのお申込受付ます♪

・マンツーマンレッスン: 初等科 6回

・1dayレッスン: 500円/回

◎blog: <http://sakura-rarara.sblo.jp/>

あーがとう



By: お藤